特集①

4月25日㊎全国公開！

彦根市が舞台となった 映画『花まんま』がついに公開

問 エンタテインメント課　☎30-6153　FAX 24-9676

4月25日㊎に全国で公開が始まる映画『花まんま』。彦根市が舞台となり、撮影では実際にロケも行われました。

あらすじ

両親を早くに亡くし、二人きりで暮らす兄妹 俊樹（鈴木亮平）とフミ子（有村架純）。フミ子の結婚も決まり、親代わりの俊樹としてはやっと肩の荷が降りるはずだったが、フミ子には俊樹に話していない秘密があった。不思議な記憶を巡る、兄と妹の物語。直木賞受賞ベストセラーが映画化！

原作：朱川 湊人「花まんま」（文春文庫）第133回直木賞受賞作

監督：前田 哲

キャスト：鈴木 亮平　有村 架純

鈴鹿 央士　ファーストサマーウイカ　オール阪神　オール巨人

六角 精児　キムラ 緑子　酒向 芳

彦根市のロケ地

▼ロケの様子（彦根港）

彦根港

俊樹とフミ子の婚約者・太郎（鈴鹿央士）が彦根にいるフミ子を探しに行く途中で登場します。

▲"彦根港" ©2025「花まんま」製作委員会

▲"彦根港"　©2025「花まんま」製作委員会

彦根駅・高宮駅

彦根駅や「彦根花室駅」として近江鉄道高宮駅が使われています。

▼実際に使用された待合室（高宮駅）

▲"彦根駅" ©2025「花まんま」製作委員会

▲"彦根花室駅" ©2025「花まんま」製作委員会

鈴木さんは今回の撮影で彦根に来られていますが、印象に残っている場所やエピソード、また今後訪れてみたい場所などについてお聞かせください。

〈鈴木さん〉

今回の作品では、彦根港に撮影で伺いました。風光明媚で、とても気持ちのいい場所でした。

映画『燃えよ剣』の撮影の際には、撮影が休みの日に彦根城に行きました。日本の城で天守が現存しているというのは本当に珍しいので、ぜひ世界遺産登録を目指して頑張ってほしいです。そして、世界遺産の番組で、ナレーションをさせていただきたいです（笑）

地方でのロケは都市部とはまた違う雰囲気があると思いますが、楽しみにされていることはありますか？また、ロケ地の市民やフィルムコミッションに期待することがあれば教えてください。

〈鈴木さん〉

その土地の歴史とかを、ちらっと教えてくれるのが楽しいです。「うちの名物これでして」と、パンフレットとかいただくことがあるのですが、結構読んじゃいますね。

〈有村さん〉

私は地方で撮影があるときは、必ずお店やその地域について調べます。そうすることで、この地域はこういうのが有名で、こんな場所があるんだな、っていう発見ができるんです。

また、作品を通してその町の良さを伝えられることは、撮影で場所をお借りする以上、それは自分たちの任務というか。自分がそのまちの人と交流したり、おいしいご飯をいただいたり、作品を通して地域の魅力を伝えることで、作品を観た方がその場所を訪れるきっかけにもなり、良い循環がつくられているという実感があるので、これからも力になれたらいいなと思います。

最後に、メッセージをお願いします。

〈鈴木さん〉

映画『花まんま』は、今まで自分を愛してくれた人、もうこの世にいない人も含めて、そういった人たちに思いを馳せることができる素晴らしい作品です。映画館でご覧になられた後に、今いる家族や大切な人たちをより大事にしたいと思っていただきたいです。

〈有村さん〉

家族や大切な人を改めて思い直すことのできる作品です。『花まんま』をとおして、過去の自分を思い出し、これまで生きてきたんだな、と自分の人生をもう一度見つめなおしていただきたいです。